



情 報 局 編 輯

週 報

二 月 十 日 號

今 年 の 食 糧 事 情
 衣 料 切 符 制 の 改 正
 祈 年 祭 に 當 つ て
 港 灣 荷 役 と は 何 か
 レ ン ネ ル 島 沖 海 戦

330 號

昭和十一年十月十一日發
昭和十一年二月十一日發
（每週一回本報日發行）

五 錢

週

報

昭和十一年十月十一日發
昭和十一年二月十一日發
（每週一回本報日發行）

週

報

内閣印刷局印刷發行

週報は民翼賛の道しるべ

籤を楽しみながら貯金が出来る

弾丸切手

一枚二円

第九回賣出 二月一日→十五日

抽籤日 二月二十日

割増金 一等千円、二等百円、三等五円、四等二円

當籤率 十一枚に付一枚の割合

第八回弾丸切手當籤番號

| | | | | | | | | |
|----------------------|----------------------------------|--|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 一等 (千圓) 本 | 12999 13593 16262 26526 | 95054 三 等 (五百圓) 本 | 374 551 877 926 | 039 054 068 072 | 272 278 283 285 | 414 428 431 432 | 605 628 631 644 | 869 870 879 892 |
| 780 46420 4638 | 70147 73190 73737 | 八百圓 切手番號 ノ百位以 下ノ數字 が同一 ノモ | 四 等 (二百圓) 本 | 092 117 163 169 | 297 327 336 339 | 438 453 459 478 | 693 697 706 714 | 894 899 922 925 |
| 25104 33621 | 74548 77866 87246 | 切手番號 ノ百位以 下ノ數字 が同一 ノモ | 二 等 (百圓) 二十本 | 184 202 228 238 | 342 343 348 353 | 482 512 518 544 | 719 720 729 741 | 934 936 947 959 |
| 6008 9633 9989 | 90407 90504 91040 91369 | 150 194 210 331 | 一等 (千圓) 本 | 242 244 249 267 | 371 380 382 408 | 558 566 578 592 | 754 779 788 864 | 959 968 979 999 |

抽籤の済んだ切手は五枚以上まとめて郵便局へお差出しの上、特別据置貯金證書と引換へて下さい。

(本報の大きさは規定規格(A5)制)

露光量違いにより重複撮影

この決意

大政翼賛會撰定

大政翼賛會宣傳部 作詞
片山 頌太郎 作曲

氣合をこめて (♩=112)

一、イ マ ダ ワ スレ ナ ルモ
二、ニ ろ だ ち か は う え いれ
三、三 コ レ ダ ウ ナ ル ソ コ ノウ
四、四 て き た た ふ す ゴ ベ いえ

カ ア ノ ノ ア ナ カ キ
ニ ヒ ィ リ ャ い ノ カ シ ャ
三 ヲ ゴ ン ン ン ン ン ン
四 タ タ タ タ タ タ タ

この決意

一、今だ！ 忘れてなるものか
あの日の朝の感激を

二、さうだ！ 誓はら英靈に
頭張り抜いて勝ち抜くと

三、これだ！ 唸るぞこの腕が
戦力作るのだ

四、敵だ！ 倒せ米英を
一億の手で團結して

週報

第三三〇號
二月十日

今年の食糧事情

農林省：米・麥・甘藷等の増産対策

衣料切符制の改正

農林省：一附改正時数一覽表

農林省：祈年祭に當つて……大政翼賛會……

レンネル島沖海戦

大政翼賛會宣傳部：旅客列車の一部取消措置

港灣荷役とは何か

海務院：大東亞戰爭日誌……

週日問題

- 二月二十八日(木)
 - 宮中で敬御開始を執り行はせらる
 - 休育明け議會開く、東條内閣總理大臣、本年中にヒルマの獨立を認める旨、言明
 - 昭和十七年度(四百六千六百五十九)追加豫算案を閣議で決定
 - 一月三十日(土)
 - アンボン攻略に機動を樹てた吳鎮守府第〇特別陸戦隊に感状が授與され、上照に達した旨、海軍省公表
 - 特設海軍部隊臨時職員設置制を改正(司令長官以下の階級公布)
 - 英首相チャーチル、トルコを訪問、イノニユー大統領と會見
- 二月一日(月)
 - レンネル島沖海戦の戦果(二月二十九日・三十日、艦隊二隻、巡洋艦三隻撃沈、駆逐艦二隻、巡洋艦一隻中破、四艘撃退)を大本營発表
 - 南方軍政の基本方針と現状を陸軍當局発表
 - 海軍練習聯合航空隊司令官に戸塚道太郎中將が就任の旨、海軍省公表
 - 二月二日(火)
 - 陸軍船隻練習部、陸軍鐵道總務部を制定、施行
 - 木材生産増強方策要綱を閣議で決定
 - スターリンググラードの戦況終了を獨軍最高司令部發表
 - 昭和十七年度米實收高(年五萬六千八百石)を朝鮮總督府發表

この決意

大政翼賛會要定

大政翼賛會宣傳部 作詞
片山 謙太郎 作曲

集合とこめて (♩=112)

この決意
 一、今日、おぼれてゐるものは
 かの日の罪の重なり
 二、まうだり、實はうたふ
 罪を、はいて、身は、はくし
 三、これだ、おぼせてこの世に
 罪が、たつたのだ
 四、罪だ、罪だ、罪だ、罪だ

露光量違いにより重複撮影

週報

第三三〇號
二月十日

今年の食糧事情

農林省：米・麥・甘藷等の増産対策

衣料切符制の改正

商工省：一限、改正点数一覽表

祈年祭に當つて……大政翼賛會：ス
レンネル島沖海戦……大本營海軍報道部：三

旅客列車の一部取消……道省：三
港灣荷役とは何か……海務院：七

大東亞戰爭日誌……三

週間日誌

- 一月二十八日(木)
 - ▽宮中で歌御會始を執り行はせらる
 - ▽休會明け議會開く、東條内閣總理大臣、本年中にヒルマの獨立を認める旨、官明
 - ▽昭和十七年度(西暦六十八年度)追加豫算案を閣議で決定
 - 一月三十日(土)
 - ▽アンボン攻略に偉勳を擧げた吳鎮守府第〇特別陸戰隊に感状が授與され、上間に達した旨、海軍省公表
 - ▽特設海軍部隊臨時職員設置制を改正(可成長官以下)公布
 - ▽英首相チャーチル、トルコを訪問、イノニエー大統領と會見
- 二月一日(日)
 - ▽レンネル島沖海戦の戦果(二月二十九日一三十日、陸軍二萬、海軍三萬發、艦隊一機、海軍陸戦隊三機)を大本營発表
 - ▽南方軍政の基本方針と現状を陸軍當局発表
 - ▽海軍練習聯合航空隊司令官に戸塚道太郎中將が就任の旨、海軍省公表
 - 二月二日(火)
 - ▽陸軍船舶總務部、陸軍鐵道總務部を制定、施行
 - ▽木材生産増強方針要綱を閣議で決定
 - 二月三日(水)
 - ▽スターリンググラードの戰局終了を獨軍最高司令部發表
 - 二月四日(木)
 - ▽昭和十七年度米實收高(千五百六十八万石)を朝鮮總督府發表

今年の食糧事情

農林省

昭和十七年産米、即ち昨年の米穀の收穫については幸ひに大體順調な天候に恵まれたこと、全國農家の勞力不足、肥料不足等の障礙を克服しての刻苦奮闘によつて、昭和十七年の生産目標である七千六百三十三万九千石に對しては四百二十八万石の不足とはいへ、昭和八年、昭和十四年に次いで非常に豊作で、昨年の十一月末に發表された第二回豫想收穫高によれば六千七百三十六万石で、一昨年の實收高に比較すると實に一千二百二十七万二千石もの増收となつてゐます。

困難な外米の輸入

昨年の米穀の收穫はなるほど一昨年

程の増收であれば、今年に外國米を輸入しなくても十分やつて行けるやうにも思へますし、また外國米を泰、佛印、ビルマ等から相當の數量を輸入できるとすれば、今年の食糧事情は昨年と比較して非常に樂になるやうにも考へられますが、實際はたゞ、農林省で説明してゐるやうに決して樂觀できない事情にあるのです。それはなぜ樂觀ができませんのか、その間の事情の概略を次ぎに述べることにしましょう。

に比べて一千二百二十七万二千石の増收ではありませんが、昨昭和十七米穀年度と本十八米穀年度との間には、内地の收穫高以外の點について、その供給や需要に大分相違があるのです。まづ一番大きな相違は外地米の移入の點です。元來、毎年朝鮮と臺灣から相當數量の外地米が内地に移入され、昨年も相當數量の朝鮮米と臺灣米を内地に移入しました。ところが朝鮮では、一昨年は相當豊作でしたが、昨年は旱魃等がひどかつたため昨年作に比較して七、八百万石減收の千五百六十八万七千石の實收高でありますので、

朝鮮からの米穀の移入は本年度は到底期待できない事情にあります。また臺灣米は、昨年の第二期作米については幸ひ平年作以上を豫想されてゐますが、今年の第一期作米がどんな工合になるかが問題で、毎年この第一期作は非常に變動が多いので昨年の第二期作が良かったからといつて必ずしも樂觀は許されないので。

このやうな外地米の事情のほか、昨年度に比較して本年度は特越し古米が大分減少してゐますし、一方、需要の方でも、人口の増加によつて七、八百万石の消費の増加がありますし、また昨年の春以來實施してゐる勞務者、青少年妊婦に對する臨時増加配給は今年も續ける必要があります。しかも昨年は途中から始めたので八ヶ月分を済ませましたが、今年は一年分必要なこととなりますので、これについても百數十万石の消費増加を豫定しなければならな

いやうな事情にあります。

そこで右のやうな事情をあれこれ考へてみますと、内地米の一千二百二十万石程度の増收は全部相殺されてしまふのでありまして、全體の需給の計算から考へますと、本年度も昨年度とほぼ同様の需給事情にあるといふこととなり、豊作だからといつて決して氣を緩めるわけにはゆかないので

すなはち、昨年度と同様の消費状態を繼續するとすれば、昨年度と同じ位の外國米を輸入しなければならぬことになり

ます。ところで、それならば外國米に對して本年はどの程度期待できるかといひますと、これについては先づ船腹が問題になるわけですが、たゞ、各方面で叫ばれてゐるやうに、今年は戦争關係で船の方の事情は頗る困難な状態にあります。すなはち、昨年は陸海軍の協

力を得て相當の無理をして外國米の輸入を確保して來たのですが、このやうな無理を今後も期待することは決してなすべきことではなく、また海上危険の増大も考慮せねばなりませんし、更に戦争の進展に伴つて極力多量の船腹を軍需資材の輸送に充てて行かなければならぬのは當然です。これ等の事情から外國米の輸送に充てる船腹は出来るだけ削減しなければならぬのです。

従つて本年度は昨年度のやうに、不足全部を外國米に頼ることは出来ないので、どんなことがあつても國內で賄はなければならぬのです。

どうして克服するか

この不足數量を補填するための措置としては、第一には麥類及び甘藷、馬鈴薯の増産を圖つて、出来るだけ國內の自給力を高めることが必要であり、

第二には一般の消費規正を一層徹底し、また出来るだけ総合配給を實施することであり、第三には國內農村における消費節約といった意味で、農村から政府への米穀の供出の強化を要請することです。

第一の麥類と雜類の増産については暫く措き、一般の消費規正の徹底については、政府においては業務用米とか味噌・醬油用・酒造用・菓子用の加工用米等の消費については味噌・醬油用等の是非とも必要な方面以外は出来るだけ切りつめ、また一般消費者に對しても昨年閣議で決定されたやうに玄米食の普及奨励を圖り、他方、搗精制限を強化して従來の七分搗米を半搗米或いは三分搗米等とし、消費の節減を行ふ等極力消費の抑制を行ふ方針です。

また主要食糧として米麥の代用となる諸類或ひは玉蜀黍等についても出来るだけ総合配給を實施してゆく方針

で、今までに既に或る程度はこれを實施して來ましたが、今後は一層これを徹底して米麥の不足を補填してゆく豫定です。

強化されるお米の供出

このやうに一般消費の方面に對して出来るだけその規正を強化する反面、農村に對しても本年の食糧事情からして一段と節約を圖り、米穀供出を強化して貰ふこととなつてゐます。

即ち本年度においては農村方面に對して昨年度以上の協力を要請してゐるのであつて、自家用米を出来るだけ節約する意味から政府への供出米の割當を強化しました。今年度の政府買入割當數量は昨年末の全國經濟部長會議で示しましたが、これは農家の自家保有米の一部節約供出を見込んで割當を行つたのであつて、しかもその割當數量は絶対に買入れなければならないとい

ふ懸念のない數量であります。いはば今回の供出割當數量は、政府が買入を必要とする最小限度の數量なのであつて、この割當數量以上の供出が望ましいことはいふまでもないことです。

勿論、政府では農家の供出を容易ならしめるために出来るだけの措置は講じてまゐる積りで、殊に本年度の供出米の割當については従來非難のあつた第二次、第三次の供出割當は絶対にやめることにしました。

本年度の食糧事情は大體、以上の通りですが、外地米の移入が臺灣のほかに期待できず、また外國米の輸入によつても不足數量を完全に補填することのできない本年度においては、どんなことがあらうとも、ぜひ一般消費者側における消費節約に對する完全な協力を、農村方面における供出の完遂とがなければ今年度は取返しのつかない結果とな

るのでありますから、一般消費者においても、また農村においても、十分今年の食糧事情を認識して、國內食糧に些かも不安のないやうに協力して戴きたいのです。

いま試みに、最近までの供出の状態をみると、一月二十日までの成績では一月末日までの供出目標に對して供出數量は七十六パーセントであり、總供出目標數量に對しては六十パーセント弱の成績です。勿論、石油その他の資材上の障礙、或ひは運送上、倉庫に關する問題等、いろいろの供出上の困難はありますと思ひますが、政府でもそれ等の障礙は出来るだけ取り除いて供出を容易ならしめるやう、必死の努力を拂つてゐるのでありますから、農家においても出来る限りこれ等の困難を克服して供出に邁進して戴きたいのです。百里の道は九十九里を以て半ばとするといはれてゐます。今回の供出目標は前にも

述べたやうに、一パーセント缺けてもならない最小限の數量なのです。今後は、官民が眞に一體となつて完全に目標に到達するまでは少しも氣を緩めることなく努力しなければならぬのです。

農家はこの重大な眞に國運を賭しての大東亞戦争下、極めて重い使命を課せられてゐることを十分認識して、一依でも多くの米を供出し、一日でも早く目標に達するやう、そして全國の農家が一軒残らず完全にその責務を果し、さらに目標以上の供出成績が擧るやう切に期待してやみません。

なほ、一般消費者の側において、農家の苦

寫眞週報

(二月十日發行)

- ☆第八十一回帝國議會再開
- ☆東條總理病後を以て烈々の施政演説
- ☆レンネル島沖海戦とその意義
- ☆昭南生れて一年
- ☆破曉から一路建設に邁進する昭南市のあときと今有様
- ☆寺内南方方面陸軍最高指揮官、現地造船所を視察激勵
- ☆新聞も移動も活潑に活動してゐる
- ☆ラジオ機模の本格的な講習會開く、街の人氣をさらさら紙芝居
- ☆新年祭を前に國民學校生徒の奉賛みそ仕
- ☆貨物と取つ組む荷役戦士
- ☆遊藝場建設を現場に視る
- ☆國民學校と馬車訓練——岐阜縣

米・麥・甘藷等の増産對策

今年の食糧事情は、別項「今年の食糧事情」によつて明らかなるやうに、極めて樂觀できない状態にありますので、政府では、少しでもこれを緩和するため、米の供出確保運動を展開すると共に、米麥をはじめ、甘藷、馬鈴薯、雜穀等の増産運動を全国にわたつて開始することになりました。

以下、各生産目標と増産への必行事項を摘記し、増産の美果を期することとします。

米の増産

昭和十八年度の米の生産目標は、耕

地の擴張や潰廢、その他の事情を考へて、七千五百九十九万石と定まりましたが、この目標はどうしても達成しなければなりません。

米を増産するために、やるべきことはいろいろあります。特に今日の資材、金肥等の不足懸念な生産条件のもとでも、技術的に改善すべきところは頗る多いのでありますから、地域別耕種改善規程等(註参照)を徹底的に實踐し、どんなに小さいと思はれる事柄でも、改善すべきことは改善し、それを積んで大となすことはもちろん、この際、特に重要な改善事項を選んで、全

國的に、或ひは各道府縣で力強く歩調を揃へて、その完遂を圖ることが必要なため、昭和十八年度にはこの重要改善事項を定めて、農家の皆様に一齊に實行してもらふことにしました。

(註) 地域別耕種改善規程といふのは、各部落の氣候、土質、地勢、耕作慣行並びに既往における試験、試作、調査の成績及び篤農家の経験、配給肥料の割當等を基礎として、それらの部落に最も適當な品種栽培方法及び病虫害の防除方法を定め、且つ改善の重點を明示したものです。従つて各農家が米麥をはじめ、その他のものについても、その部落の耕種改善規程通りに實行すれば、自然に増産の効果があがることになつてゐます。

そして、もちろん重要な改善事項は、各地方の實情に即應して定められるわけですが、この際としては、次ぎのやうなことがあげられます。

▽植付株数の増加

▽播種並びにこれがための苗代面積の擴張

▽除草回数確保

▽自給肥料の増産、窒素質肥料の全層施肥及び分施

▽稻熱病頻發地帯における計画的薬剤散布

▽苗代における浮草子駆除の勵行及び本田における浮草子の早期発見及び適期駆除等

麥の増産

本年度の食糧自給に處する對策としては、消費の規正に適當な方策をとることが、勿論必要ですが、何といつても國內の生産を増加することが根本です。そこで前述の米の増産はもとより、後述の甘藷、馬鈴薯、雜穀等の増産に特段の努力をしなければならぬのですが、中でも、收穫時期からいつて、現在時きつけられてゐる麥類の増

産に全力を注ぐことが、端境期に豫想される困難な食糧事情を克服するためには、まことに適切な方途です。

一體、今年度の麥の生産計畫はどうなつてゐるかといひますと、面積において、大麥四十二万六千五百六十五町歩、裸麥五十四万三千四百六十六町歩、小麥九十九万六千六百八十六町歩、合計百八十七万六千七百七十七町歩となつてをり、また、生産數量の方からみますと、大麥九百二十二万四千四百八十石、裸麥八百三十二万六千二百十石、小麥千三百六十万三千三百五十四石、合計三千九十五万三千九百七十二石となつてゐます。この計畫に基づいて、各道府縣では既に昨年中に各農家で作付すべき面積と獲得すべき數量を割當つたのですが、播種が各地とも大方は終つた今日、麥の増産戦に勝ち抜く途は、一にかゝつて今後の手入れ作業の如何によることとなつたのです。

このやうなわけで、政府では、去る一月二十五日から麥増産完遂運動を全国にわたつて展開し、今後栽培期間中に、少くとも三回の手入れ管理の實施週間に設け、この期間には必ず次ぎの事柄の中、その地方に大切な事柄について、一齊に實施し、麥の増産に一段の拍車をかけることにしました。

(實行事項)

(イ) 除草、中耕、土入、踏壓(麥踏み)、追肥
これらのことは收量に影響の多い作業ですから徹底的に實施しなければなりません。麥踏みをする場合、餘り小さい(本葉三葉以下)時は麥の上から踏まないで側を踏み、麥が立ち始めるまでに十分踏み込むことが大切です。また追肥をやる場合は早い方が効目が多いのです。

(ロ) 沓雪促進及び排水

積雪地方で行ふことで最後の降雪がやんだら雪の上に砂や土をかき撒いて雪を早く消し、その雪解水を速かに除くと

衣料切符制の改正

省 工 商

切符制の趣旨

戦時になると一般民需品、殊に衣料品のやうにその原料資源を多分に海外からの供給に仰いでゐるものについては、自らその供給が強く制限されることとなりますが、衣料品は國民生活に欠くことのできないものでありまして、どんな場合にも生活を維持するだけの最低限度の供給は確保しなければなりません。もしもこれが確保できないやうなことがあれば、忽ち深刻な生活不安が襲つて参りまして、戦争完遂のためのあらゆる國策の遂行に、重

一年間の経過

右に述べましたやうな趣旨に基づい

去る一月十八日、衣料品の階級の引上げと衣料品の取扱上、若干の改正が發表され、次いで二月一日には昭和十八年度の衣料切符制が發表されました。次に改正された衣料切符制度について若干の解説を加へ、衣料の消費規正に一層のご協力を願ひたいと思ひます。

大なる支障が生ずることになります。でありますから、一方において生活に必要な品物の生産を抑制し、生活必需品の生産を確保増強すると同時に、他方においては、かやうにして生産された生活必需品についての配給の合理化を圖ることによつて、その偏在、すなはち買溜め、買惜しみ等を防止して、生産された生活必需品を公平に分配する方法を講じなければなりません。生活必需品について適正な配給を行ふためには、合理的な切符制度の採用が最も適當と考へられます。そして衣料品のやうに、相互間に選擇的な需要の關係に立つてゐる品物については、個別的な切符制は實行不可能でありまして、現在のやうな総合的な切符制が適當なのであります。

甘藷・馬鈴薯の増産

米麥の増産確保を期すると同時に、この際、政府において特に一層の努力を期待してゐるのは、甘藷及び馬鈴薯の増産です。

食物の營養的價値を一般に熱量を以て示しますが、いま主なる食糧生産物について一定面積當り生産の熱量を比較しますと、現在の反當りの收量を以てしても、甘藷が第一位で米が第二位、馬鈴薯が第三位といふ順位になつてゐます。その上、甘藷、馬鈴薯は科學的研究が殆んど加へられてゐませんでしたところ、最近に至つて品種の

改良その他栽培法、病虫害防除に関する研究も急速に進み、品種改良の如き單に品種を置き換へただけでも三十四割の増収は確實に期待できる優良品種の育成選抜をみるに至つてゐます。

このやうに甘藷・馬鈴薯は現在においても比較的豊富な生産力をもつてゐる上、なほ更に増産の餘地がのこされてをり、今後食糧として最も豊富に増産の可能性が多いので、現下の食糧事情をにらんで、この際、甘藷・馬鈴薯の増産に一層の努力を拂ふこととなつたのです。

かくて昭和十八年度においては甘藷十七億六千三百万貫、馬鈴薯七億八千万貫の生産計畫を樹立し、これが絶対確保を期してゐる次第であります。が、このための具體的方策として、從來に引續き優良品種の普及更新、良苗の育成、自給肥料の増産、病虫害防除等の耕種改善に重點を置くと同時に

これが指導奨励の徹底を期するため、指導組織の整備擴充を圖ることになりました。

既に中央においては、食糧増産技術中央本部に甘藷・馬鈴薯應急増産指導部を設置すると共に、地方においてもこれに即應、指導體制の強化を圖り、有能な篤農家を動員活用して、實地指導に當らせるなど、技術指導の徹底に遺憾なきを期してゐるのです。

農 林 省

國內態勢強 米國及び英國に對する宣化の根本方 戰の詔書
針は必勝の大東亞戰爭はどうして起つた二字に盡き か○官戰の大詔くだる○戰爭に勝ち抜くために○むすび

大東亞戰爭とわれら

大東亞地圖 世界全國 文部省教學局編纂 定價二十錢 送料四錢

て、昭和十七年二月一日から殆んど總ての衣料品について、総合的な切符制度を實施したのでありますが、その後一ケ年、この制度は關係各方面の眞剣な努力と、消費者の皆様方の心からのご協力とによつて豫想以上の好成績をあげ、殊後國民生活の安定に役立つてゐるのであります。まことに喜ばしいこととあります。すなはち、衣料切符の使用の状況からみますと、現在までのところ全國平均して交付した總點數の約四分の一、すなはち二割五分程度、或ひはそれ以上の節約を見得るものと推定できるのであります。他面、衣料品の供給の狀態は、生産配給部門とも、これまた順調に進んでおります。

しかしながら、ご承知の通り、米英は大東亞戰爭緒戦の大敗を回復しようと、その老大な生産力に頼り、決戦反撃の機會を窺つてゐるのであります。わが國が現在當面するいろいろの事處

は、決して樂觀は許されません。そこで政府は、衣料切符の使用の現状と各方面の事情を慎重に併せ考へた上で、衣料品點數の引上げを行ふと共に、昭和十八年度の衣料切符について、衣料品の取扱上、若干の改正を行つて、大東亞戰爭第二年に對處することになつた次第であります。

點數改正の内容

まづ衣料品の點數の引上げの内容について述べますと、

第一に、一部の衣料品を除いて衣料品の點數を、従来の點數の約二割五分程度引上げたこととあります。従つて、衣料品の點數の基準となる小幅織物一反の點數は、二十四點から三十點となつたのであります。尤も、これには多少の例外があるのであります。手袋、幼児用ズボン等は共に従来の五點に、浴用タオル、手拭は従来の三點に、

手編糸は一オンス一點に、それ／＼そのまゝ据置いたのであります。これは他の衣料品との釣合その他からみて引上げを見合せたのであります。また縫糸は従來十匁一點であつたのが五匁一點となり、扱帯は帯縮の類から帯の類に編入されて一點から十點に引上げられたのであります。二割五分引上げの例外となつてをります。その他一率に二割五分を引上げてから端數を切上げたため、例へば従來一點であつたものが二點になり、二點が三點になつてゐるものもあります。

第二には、小幅織物の切り賣りの場合の點數は、今回の引上率の關係から釐尺一尺について一・二點といふ小數となりしました。これは取扱上、或る程度の不便が感ぜられますが、この點數を計算に便利なやうに切上げますと、相當消費する方には影響があまりなし、また一反の點數三十點なので、そ

れとの釣合等も考へて、やむを得ずかういふ點數としたのであります。なほ、實際に衣料品を賣買するときは、一點未満の端數は一點に切上げることになつてをりますから、例へば一尺買へば一・二點で二點に、三尺買へば三・六點で四點になるわけであります。

第三に、純絹織物と純絹製品の點數については、一昨年八月、米英の我が國に對する資産凍結の結果、輸出による外貨獲得の使命を失つた生糸を國內使用に充てると共に、我が國唯一の自給原料を活用する目的で、一應その他の衣料品の四分の一の點數とし、鉦仙等の實用なもの生産に力を注いで來ましたが、今いろいろの事情を考慮の結果、その他の衣料品の二分の一の點數に改正されたのであります。

第四に、學童服、子供服、幼児服等の生地仕立、即ち注文主が表生地を持つて行つて仕立に出す場合に使用され

る裏地と、附屬地の點數が新たに定められました。

これまでは學童服、子供服等を仕立に出しますと、裏地の點數は要尺により、つまり何ヤール或ひは何メートル使用されたかによつて個別的にきまつたのであります。計算が不便でもあり曖昧にもなつてをりました。近頃、衣料節約の方法として、大人物の洋服を子供の洋服に改造するとか、古い子供服を仕立直すとか、戦時にふさはしい企てが極めて多くなりましたので、これまでの不便をなくすために、この點數を設けたのであります。

第五に、帽子と羽織紐を衣料品に追加してそれ／＼の點數を定めました。帽子とは布帛製、フェルト製または莫大小製のもので、紙を原料とするものなどは含まれませんから、バナマとか麥稈とかの帽子は衣料品の中には入りません。帽子は一箇四點、羽織紐は一掛一

點であります。これ等は従來衣料品として取扱はれてをりました手袋、足袋、靴下、帯締、腰紐等との釣合上、新らしく追加されたわけです。

なほ、一部の衣料品の類別に変更を加へて、衣料品の類別を出来るだけ整頓しました。例へば二重廻し、トンビ、角袖、マント等は和服類から洋服類に、半襟、袖、袖口等は肌着身廻用品類から和服類に、刺子着、前掛、エプロン等は作業被服類から肌着、身廻用品類にそれ／＼移したのであります。

新衣料切符

次に昭和十八年度の衣料切符は、近日常にそれ／＼居住地の市町村長から町會、部落會等の手を経て消費者に交付されることになつてゐますが、その主な點について述べることといたします。

第一に、衣料切符の總點數は昨年度と同じく甲種(郵部用)が八十點、乙種

(都市用)が百點であります。

第三に、衣料切符の有効期間は昭和十八年二月一日から昭和二十年一月三十一日まで二年間であり、昭和十七年度の切符は、昨年七月二十二日になつて有効期間を一年延長して昭和十九年一月末まで有効とし、切符が圓滑に使用されるやうにしましたが、今回も同様の考へから二年間有効としました。

本度、昨年度に使はなかつた點數は、もちろん今年も使へます。昨年度の切符はもう使へなくなるやうにお考への方も多少見受けられますが、誤解のないやうに願ひます。

第三は、小切符の有効期間であり、昨年度と同じく昭和十八年二月一日から直ぐ使へるものと、八月一日以後でなければ使へないものと二種を設け、切符に境界線を入れてこの二つを區分しました。即ち甲種切符では

五十點と三十點に、乙種切符は六十點と四十點に分けてあります。

第四に、制限小切符のうち、ネル(ニヤール)は、その供給状態から考へて數(年七十歳以上の男子、十八歳以上の女子、出生兒(の)の衣料切符及び妊娠五ヶ月以上の妊婦(の)の衣料切符)の切符の他は、これを切り取つて交付することになりました。晒(一〇尺)、手拭又はタオル(二本)、足袋または靴下(甲種衣料切符は四足、乙種衣料切符は六足)は昨年通りです。

今回、新たに制限小切符が要ることになつたのは綿縫糸で、甲乙兩種とも五匁の制限切符が二枚つけてあります。綿縫糸は、今まで切符さへあれば、いくらでも買へましたために配給が不圓滑になつたやうな場合もありましたが、本年度は一人十匁に限り全部の人に配給できるやうにいたしましたのであります。綿縫糸が一人當り十匁あれば新調するものも修繕するものにも事欠

かないわけです。古い衣服の更生利用といふことが喧ましくいはれてゐることに、これに必要な縫糸を制限するのはどうかといふ説もありますが、全部の人に品物が行き渡るやうにするにはかうするより他ないのであります。若し萬一足りない方がありましたら、綿以外の縫糸、即ちスフ縫糸、絹縫糸等にはこれまで通り制限小切符は要らないのでありますから、これを使つて戴きたいと存じます。

第五には、昨年度のやうな二點と五點の小切符を廢止し、全部一點とするこゝによつて手數上の不便を除きました。従來、點數のお釣りが認められなかつた前から、五點の切符しかなくて一點のものが欲しい時も、つい欲しくなつたためです。

第六には、有効期間の記載のない補助小切符は廢止しました。なほ、これに伴ふ規則の改正として

は、従來衣料切符の交付は市町村長が行つてをりましたが、交付手續の簡素化を圖るため、特定の場合には商工大臣が交付することに改正されました。

更に昭和十七年二月一日から昭和十八年一月三十一日まで一年間に新らしく市制を施行した地域と、六大都市の周邊で、これと同じ位の衣料生活をするやうになつた地域とに、乙種の衣料切符を交付することになりました。すなはち次ぎの市町村には、今年から百點の衣料切符が交付されます。

- 北海道北見市、千葉縣木更津市、靜岡縣富士宮市、三重縣鈴鹿市、大阪府東大津市及び高槻市、兵庫縣相生市、和歌山縣田邊市、香川縣坂出市、長崎縣大村市、熊本縣人吉市及び荒尾市、兵庫縣武庫郡本庄村、同良元村、同鳴尾村、同川邊郡小瀬村、同神津村、同園田村、大阪府北河内郡守口町、神奈川縣鎌倉郡大船町、同三浦郡逗子町、京都府久世郡宇治町、

同宇治郡東宇治町、同乙訓郡向日町、同新神足村

今回の改正は過去一ケ年間の衣料切符の使用の状態を基礎としたもので、から、これによつて直ちに一般國民の衣料生活に大きな支障を來すことは萬々ないことと信ぜられます。

むすび

繰返すまでもなく、衣料切符制度の目的は、國民の衣料消費を規正すると同時に、國民生活の最低限度を維持することに十分な衣料品の供給を確保することにありますから、政府もこれら必需衣料品の生産と配給には、十分意を注いで國民の衣料生活に遺憾のないやうに努力することになつてをります。

殊に衣料切符制度實施後、各方面から寄せられた報告や希望は、出來るだけこれを参考にし、例へば、防寒用の衣料品は北海道、東北等、寒冷地に優

先的に配給するとか、不要品、不急品の製造は極力制限して、勞働作業衣等實用品の生産に力を注ぐとか、また幼児、妊婦等が不自由を感じないやうにする等、萬全の策を講じてゐるのであります。

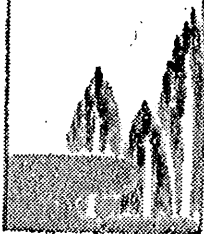
今われわれが一點の衣料品を節約することは、直ちに第一線の勇士へ軍服を送ることになり、銃後の産業戦士への作業衣を確保することになり、なほ又われわれと苦樂を共にしつゝある大東亞共榮圏の諸民族へ衣料を供給することになるのであります。われわれは今回の衣料切符制度の改正が、大東亞戰爭完遂のためには洵にやむを得ないものであることを理解し、衣料點の消費規正に一段の努力を重ねると共に、手持衣料の活用により出來得る限り新調を見合せ等、銃後國民としての務めを全うしようではありませんか。

衣料點數表

Table with columns for item name, unit, and points. Includes categories like '織物類及び莫大小生地類' and '襪類'. Lists various fabric types and their corresponding point values.

Table with columns for item name, unit, and points. Includes categories like '和服類' and '洋服類'. Lists various types of Japanese and Western clothing and their corresponding point values.

祈年祭に當つて



来る二月十七日は祈年祭の執り行はれる極めて意義深い佳日であります。

この日宮中におかれられましては、畏くも祈年祭の御儀を厳かに執り行はせられ、天皇陛下御親ら五穀豊穡、國家安泰、民草の福祉を御祈念あらせられると共に、神宮を始め奉り全國の官國幣社に幣帛を供して祭典を行はしめられ、また府縣社以下の神社においても、この日を中心にして大祭が行はれる次第であります。

このやうに祈年祭は、わが國の祭祀中において最も重要な祭祀の一であるにもかゝらず、今日なほ未だ國民の間に、この祭祀の意義が深く徹底してゐないことは、洵に遺憾と申さねばなりません。

明治天皇は、その御製に

わが國は神のすまなり神祭る

昔の手ぶり忘るなよゆめ

と仰せられ、國家の重要な祭日には神々を御親祭あらせ給うて、國民に御垂徳遊ばせれると共に、一瞬たりとも祭祀を怠せにすべきでない所以を御諭しあらせられたのであります。聖慮のほど洵に恐懼の極みであります。

また明治三十八年の日露戦争最盛期に當り、

世の中にことあるときぞしられける

神のまもりのおろかならぬは

と仰せ給うて、戦争下において特に神祇崇敬の重んずべき所以を御示し下されました。

いま我が國は、國を擧げて米英露の聖職を戦ひつゝあるものであります。陸に海に空に、諸國以來、皇軍の擧げた赫赫たる戦果は、これこそ偏へに天佑神助によると申さずして何でありますやう。

われ／＼國民は「神の御意」として、世界に比類ないこの有難き神國に生を享けたことの感激にむせびつゝ、大御心を奉じて「まつろひ」の心をいよく深くし、酒樂荒蕩の牢平たる決意を新たにせねばなりません。

二

日本書紀によりますと、畏くも天照大神は御饗津神の献つた稻を以て「蒼生の食ひて生くべきものなり」と宣はせ給ひ、また皇孫を降臨せしめ給ふに當りましては、感從の神たる天兒屋根命、太玉命の二神に對して「吾が高天原に聞食す齋庭の恩を以て亦吾が兒にまかせまつるべし」と仰せられて、稻種を授けさせ給うたと記してあるのであります。

この御神勅によつて獲ひ奉ることが出来ますやうに、稻は帝國の始め、皇祖の御思召

によつて皇孫の召上りものとして授けさせ給ひ、また天の下に滿ち足らはしめられたものであります。爾來、歴代の天皇におかれられては、この聖庭の恩の御神勅を畏み給ひ、農を以て立國の大本となし、種種深き大御心を寄せさせ給うたのであります。

われ／＼の先祖もまた代々列聖の御旨を奉じて「百世として洪大無邊なる聖慮のまに／＼、懸命に農事にいそしみ、今日あるやうな瑞應國の隆盛な姿に翼賛し奉つたのであります。

このやうに、農は我が國においては古來國家産業の基本であり、國民生業のよつて立つところでありまして、従つて農業の強弱盛衰は同時に國家隆替の岐れるところであります。

このやうな次第で、國家の祭祀中에서도特に農事に關するものは、古來、國の上下において重んぜられましたことは、既に大寶令及び延喜式にも明らかなところでありまして、今日に至つてもなほこの精神は渝ることがないのであります。

三

祈年祭は「としこひのまつり」と訓じます。

年とは年穀の意で、特に稻を指して用ふる語であります。即ち祈年祭は毎年播種期の初めに當つて、年穀の豊穡を天神地祇に御祈念遊ばさるゝ祭祀で、新嘗祭と共に重要な祭儀であります。延喜式の祈年祭祝詞には「皇祖等の前に白く、今年二月に御年初め賜はむとして、皇祖孫命の宇豆の幣帛を」とありまして、即ち今年の二月に全國の農作を始め給ふに當つて、天皇の殊嚴なる幣帛を供へ奉り、御祈りいたす旨が記してあるのであります。

この祈年祭は、前申しましたやうに、齋庭の恩の御神勅に基づくものであり、またこの祭祀の創始された當時には、農業は我が國産業中の最も主要なものであります。

ので、今日なほ、祈年祭と言へば單に農に關する祭祀であるかのやうに考へられる傾向があります。これは一顧もつともなことであります。しかし祭祀の有する意義は、時代の進運と共に次第に推し廣めて解

釋いたさなければならぬもので、今日では汎く全産業人、全國民の祭祀として認識いたさなければならぬと思ふのであります。

既にこのことは延喜式の祝詞の中にも、「皇祖孫命の御世を、手長の御世と尊稱に常弊に驚ひ奉り、茂御世に幸へ奉る」とあることに徴してわかりますが、なほ、當日奏上する官國幣社祈年祭當司祝詞の中にも「頃津御年を始めて、草の月葉に至るまで作りと作る物共を」とありまして、いよ／＼この祭祀が全産業人にも深い關係を有する祭祀であることを知る事が出来ます。なほまた幣帛供進使の祝詞には「天皇が天朝廷を始め、天の國民に至るまで、遍遠に彌廣に五十批八葉枝の如く立榮えしめ給へ」とあるのを見ますと、まさ／＼全國民の祭祀たる事が瞭解されると思ひます。

四

以上は祈年祭の意義を簡単に講解したのであります。こゝに忘れてはならないことは、神々に祈念し奉ると同時に増進の決意を御誓ひ申上げ、新たなる意氣込みを以

て進進しなければならぬといふことであり
ます。

延喜式祝詞の中にも、「皇神等の依りし奉
らむ奥津御年を、手取に水沫に垂垂り、向
股に泥寄せて、取作らむ奥津御年を、入
東照の伊加志願に、皇神等の寄さし奉らば
とありまして、入東照の縁りを神々に祈念
すると同時に我々もまた手の取に泥田の水
沫をかき垂らし、両股に泥を振寄せ一切
の勞苦を厭はぬ旨を言上してあるのであり
ます。この祝詞にもありますやうに、徒ら
に神の御加護のみに依頼することなく、資
材その他の生産上の懸念を克服して、生
産増強に渾身の努力をいたすべきでありま
す。

即ち農山漁村においては、氏神社等の祈
年祭當日、五穀の種子や代表的な農林漁具
等を神前に供へ、戦時食糧その他重要農林
水産物増産の決意を新たにし、また工場、礦
山、事業場等においても、祈年祭の當日、庭
内の神祠または神棚等の神前に、代表的な工
具、原材料を供へて、それらの増産の決
意を固め、逞しい實踐へその一歩を進めら
れんことを願つてやみません。

五

畏くも、天皇陛下におかせられては、昨
年十二月十二日、神宮に御参拜、親しく
皇祖の大御前に開戦以來の越々たる戦果を
謝し給ふと共に、戦勝を御祈願あらせら
れ、越えて十二月十五日には、格別の恩召
を以て産業經濟全部の代表者を宮中に召
させられ拜謁を賜うたのであります。かゝ
る御事は、わが國の有史以來今日まで、幾
度か困難に遭遇したことはあつても、未
だ嘗て一度もその御前例を拜せぬところ
でありまして、時局を御懸念あらせられる
大御心の程は海に恐懼感激の極みでありま
す。

また法戰第一年の今春の宮中御會始の
御題を「農村新年」と仰せ出され、畏くも
御製に
ゆたかなるみのりつゞけと田入らも
かみにいのらむ年をむかへて
と詠ませ給ひ、また、皇后陛下の御歌に
はげまなむ年をむかへてをみならも
つまにかはりて田はたもるべく

と拜するのであります。この右難き御製並
びに御歌を拜し、銚後盛氏はもとより、一
億齊しく唯々感涙にむせび、恐懼感激中
上ぐるところであります。

こゝに一億國民は躍然超つて決戦下の最
大要請である生産の増強に一死報國の誠を
效し、以て右難き大御心に應へ奉らなけれ
ばなりません。

大政翼賛會におきましては、關係官廳各
種民間團體と協力して、意義深い祈年祭當日
を中心に全國一齊に豊穰祈願の國民的行
事を実施することになりましたが、これは
この祭儀の眞意を全國民によく徹底させ、
一層農業報國、生産増強の決意を振起せん
がために他ならないのであります。

農山漁村民はもとより、全産業人、全國
民が祈年祭の趣旨を體し、年穀の豊穰、生
産の増強を祈念し奉り、増産の決意を固
め、學國一體、不退轉の大勇猛心を以て振古
未曾有の時艱突破に邁進せんことを念願し
てやみません。

(大政翼賛會)

レンネル島沖海戦

大本營海軍報道部

敵の反撃を破掃

帝國海軍航空部隊は一月二十九日、
ソロモン群島レンネル島東方洋上にお
いて、アメリカの有力艦隊を捕獲、強
襲を敢行して、大打撃を與へ、さらに
翌三十日も追撃の手を緩めず猛襲を決
行、戦艦二隻撃沈、巡洋艦三隻撃沈の
ほか戦艦一隻中破、巡洋艦一隻中破、
戦艦三隻撃沈といふ赫々たる戦果を
あげ、新春を期して進動しつゝあつた
敵反撃の凶暴を痛烈に破掃したのであ
る。

さらに二月一日、わが航空部隊は、
ソロモン群島イサベル島南方に機動中
の敵海上部隊を捕獲攻撃する一方、
ニュージージア島方面においても、挑
戦し來つた敵航空機群と交戦、この兩
方面の海戦でも巡洋艦一隻撃沈、一隻
小破、飛行機三十三機撃墜(内大規模撃
機四)といふ大戦果を挙げ、反撃にあ
へぐ敵勢力にまたしても大打撃を加へ
たのである。しかし、我が方も自爆及
び未歸還機十機を出すに至つた。

アメリカは、昨年八月七日以來、ソロ
モン群島方面に反撃の主力を集中し、
第一次および第二次ソロモン海戦、南
太平洋海戦、第三次ソロモン海戦、ル
ンガ沖夜戦等、相次ぐ敗戦によつて艦
艇百二隻、輸送船二十三隻を撃沈破さ
れるといふ大打撃を受けたにもかかは
らず、性懲りもなく反撃の企圖を捨て
ず、年末から新春にかけて反撃の蠢動
をつづけ、われに隙あらば、猛反撃に
轉せんと虎視眈々たるものがあつた。
それは、彼等としてはソロモン方面
に苦戦しつゝある部隊への補給はもと
より、あくまでこゝを對日反撃の足場
たらしめんとし、逆にソロモン方面を

喪失することは彼等にとつて、致命的であるからである。

すなはち、アメリカは、昨年十一月三十一日のルンガ沖夜戦後も執拗な反攻準備に餘念なく、北方アリューシャン方面においては、基地を整備すると共に、わが占領地域に不斷の空襲を試み、大島島、ギルバート群島方面にも飛行機によつて出撃を試み、本年に入つては、一月中旬からガダルカナル島の海兵隊を陸軍部隊と交替し、海軍長官ノックスは、自らガダルカナル方面の視察に出掛けて、前線を激動するなど、新春反攻の企圖は歴然たるものがあつた。

かゝる敵の反攻態勢をみるに、アリューシャン、大島島、ギルバート群島等に揚動牽制を行ひ、ソロモン方面に新反攻を狙つた點は、昨年夏、アリューシャン、ギルバート群島方面に出撃率制を試み、八月上旬を期してソロモン

群島方面に大舉反攻を展開したのと、全くその軌を一つにしてゐるのである。しかるに彼等が期待した新反攻が、その出撃を完全に破砕されたのであるから、敵にとつて大きな痛手だつたに違ひない。

兩日に亘る奇襲と強襲

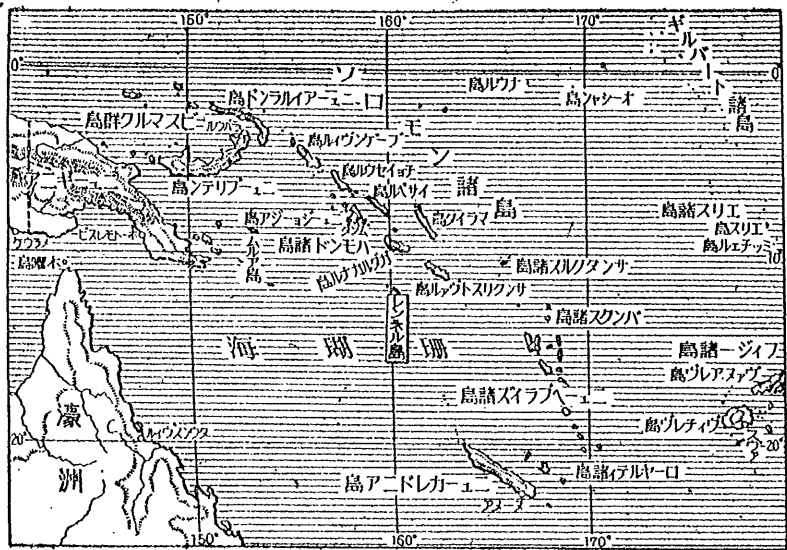
レンネル島沖海戦第一日の一月二十九日、わが空襲部隊は、ガダルカナル島南方のレンネル島東方洋上において、戦艦を基幹とする敵有力艦隊が、ガダルカナル島方面に向つて西北に針路をとりに航行してゐるのを発見、空襲機は直ちにこれをわが部隊に報告、敵大艦隊發見の報に勇躍したわが航空部隊は、時を移さず進發した。

この日、數日來の荒天に、同方面はなほ密雲に閉されてゐたのであるが、敵必滅に氣負ひ立つわが攻撃部隊は、大編隊のまゝこれを突破して、敵艦隊上

空に殺到、この悪天候の中をわが航空部隊が大舉來襲しようとは夢にも思はず、戦艦群を中心に、巡洋艦を従へ、驅逐艦の直衛を配して悠々と北進を続けてゐる敵艦隊を、同島北方洋上に捕捉した。

わが航空部隊は、薄暮を利用して猛烈に襲ひかかり、瞬時にして戦艦一隻、巡洋艦二隻を撃沈したほか、戦艦一隻、巡洋艦一隻に損害を與へ、見事奇襲に成功した。敵の虚を衝くわが猛攻に、敵艦列は四分五裂となり、狼狽した敵は、倉皇として反轉、夜の帷に包まれた南海の間に遁走を始めた。翌三十日、わが部隊は引き続き追撃を敢行、レンネル島東方に再び敗走の敵艦隊を捕捉、強襲を加へた。

この日、敵は基地より來援したグラマン戦闘機二十機以上をもつて艦隊上空を直衛せしめ、防空砲火も熾烈をきはめたが、わが攻撃部隊は猛烈な空中



戦を交へて、敵三機を撃墜すると共に、前日の戦闘においてすでに損害を蒙つてゐる敵戦艦に魚雷數本を命中させ、敵艦は見る／＼猛火に包まれ、右舷に三十度傾斜後、大爆發を起しつゝ沈没、さらに巡洋艦一隻を屠り、この日、晝間の強襲戦も、前日の薄暮奇襲戦に劣らぬ成功を収めたのである。

以上、二日間に亘る海戦は、レンネル島沖海戦と稱されるのであるが、戦艦二隻、巡洋艦三隻、駆逐艦一隻、大型指揮官機が壯烈な自爆を遂げたのを始

イサベル島方面の戦果

二月一日、イサベル島南方洋上において、驅逐艦及び十七機のグラマン戦闘機に直衛されつゝ北上する二隻の巡洋艦を基幹とする敵の有力部隊を捕捉した我が航空部隊は、直ちに攻撃を開始、必死となつて打出す敵の防禦砲火を物ともせず、巧みに弾幕を滑つては敵艦に必中弾を浴びせ、忽ち巡洋艦一隻を撃沈、巡洋艦一隻小破の大戦果をあげると至つた。

一方、空中戦においては躍起に喰ひ下つて來るグラマン戦闘機と猛烈な空中戦を交へ、十七機中實に十六機を撃墜したのである。しかし、わが方でも指揮官機が壯烈な自爆を遂げたのを始

め、自爆、未帰還機八機を出した。さらに、同時刻頃ニュージョージア島北方海上においてわが航空部隊は、B十七重爆撃機と戦闘機十数機からなる敵の一部隊及び戦爆連合の三十機の敵航空部隊と五時間に亘る熾烈な空中戦を展開し、前者においてはB十七型四機を撃墜、後者においては敵軽爆二機、戦闘機十二機を撃墜、執拗な敵機の反攻を撃退したのであつた。しかしながら、この空中戦においてわが方は二機を失つたのである。

本海戦の意義

さて、アメリカ政府が連反攻を呼號し、小賢しくも「勝利の年」と宣傳してゐた一九四三年の初頭、レンネル島沖およびイサベル島沖における惨敗の事實が、彼等に贈られたことは、大東亞戦争に對する天の啓示でなくてはならない。レンネル島沖及びイサベル島沖

海戦におけるわが快勝は、アメリカが太平洋戦に關し全世界にばら撒いてゐた逆宣傳を、徹底に粉砕したばかりか、さらに帝國海軍の儼然たる偉力を示したものと云へよう。

レンネル島沖の海戦は、航空部隊をもつて敵艦隊の中樞を撃破した點において、ハワイ海戦、マレー沖海戦に匹敵するものであるが、とくに、ソロモン方面におけるわが航空勢力が、着々として整備、強化され、次第に實質とも敵空軍を壓倒しつゝある證左として重大な意義をもつものである。このことは本海戦が、敵が自己の完全なる制空權下となつたのむソロモン群島東南方に展開され、しかも南海特有の悪天候を衝いて長途遠征、攻撃にあつた一事からも容易に窺はれよう。

ないのは、指揮官機の奮戦である。すなはち二十九日の戦闘において、わが攻撃隊の指揮官機は、熾烈な防禦砲火を耐して、敵艦隊に魚雷を叩き込んだが、發射後、敵弾を受けて、基地への歸還が不可能と知るや、指揮官機はまづしぐらに、敵艦隊の艦橋目掛けて突、自爆し、自ら發射した魚雷に加へ、壯烈な身をもつて敵艦隊に止めを刺したものである。

指揮官機の自爆を自撃、或ひはこの報告を受けた僚機は、異常な感動に打たれ、全軍の意氣頓に昂り、右の如き赫々たる戦果をもたらしたのである。前線に奮戦する將兵は、「われわれの仇敵は、必ずわれわれに續く者が討ち取つてくれるのだ」といふ信念と意氣をもつて、莞爾として護國の華と散つてゐることを、われわれは心に深く銘記し、これに應へるところがなければならぬ。

告知板

旅客列車の一部取消

來る二月十五日から、全國に亘つて、旅客列車の一部取消することになりました。これは、今回の大戦争を勝ち抜くためにぜひ必要な、しかも急を要する輸送を確保するために行はれるものであります。今後も旅行が相當窮屈となりませうが、現在の時局をよく理解されて、急がぬ旅行や遊樂的な旅行は、この際、自願していただくと共に、ますます交通秩序の保持、昂揚に努めて、不自由勝ちな戦争生活を明るく過すやうにしたいものです。

今回の旅客列車取消の要旨は、次ぎの通りであります。

(一) 東海道、山陽、東北線のやうな幹線では、主に急行及び準急行列車を取消し、重要物資の輸送力を増すことにしました。

また、地方でも普通列車の一部を取消しますが、通勤通學には差支へのないやうに考慮を拂つてあります。なほ普通列車も一部の取消があります。

(二) 従来の神戸行急行列車は、全部大阪打ち切りとしました。

今日の情勢では、神戸まで急行列車を直通させる必要が薄くなつたばかりでなく、同方面の貨物輸送力を増強する必要に迫られてゐますので、これを大阪打ち切りとしました。

(三) 遊覽地への列車を減らすことにしました。

しかし、地方の方の迷惑にならない程度に減らします。

(四) 名古屋・東京間上り特急座席指定を廢止します。

名古屋から東京行の急行列車が取消されるため、同區間は相當混雑すると思像されますので、急を要する旅客を一人でも多く運ぶため、上り特急ふじ、つばめ號の座席指定の取扱ひを廢止することにしました。

(五) 東京・門司間の三列車(東京三時及四列車(三時三十分)の一等寝車車をはずし、また名古屋・長野間の八〇三列車(名古屋三時七分)及び八〇四列車(名古屋三時三十分)の二等寝車車をはずし他の客車を連結いたします。

なほ、取消のため混雑のひどくなるどころには、残された列車に客車を増結して緩和を圖り、なるべく不便をかけぬやう努めますが、なんといたつても、今

(四) 機械荷役と人力荷役

荷役と揚荷役 積荷役と揚荷役の區別は、文字の示す通り貨物を船に積込む場合と、船から卸して陸揚げする場合との區別です。どの港でも双方の荷役をこなす必要があり、港の背後地によつて決ります。例へば、北海道の炭産近くでは、石炭の積荷役が主になります。岸壁荷役と沖荷役 岸壁荷役と沖荷役との區別は、揚積、つれの荷役にせよ、船を直接に揚橋や岸壁等に積上げて荷役する場合と、一名沖船りともいつて港内の繫船浮標に船を繋ぎ、船を船に積上げて荷役する場合との區別です。この二つの荷役のどれが良いかは、一概にはいへません。これは港の地形や背後地等の關係にもよります。

のやうに、荷役をする場所によつて岸壁荷役と沖荷役とがあり、揚荷役で岸壁荷役の場合には、船の船内や甲板上で作業し、荷物を外に出す作業である船内荷役と陸上で陸揚げされた荷物を運ぶ沿岸荷役との二つの荷役が行われます。また積荷役の場合も、道の順序で同様の二つの作業が必要で、沖荷役の場合には、この他に先づ船から船に荷物が卸されるので、さら、更に船を荷物の陸揚地まで運ぶ岸壁荷役といふ作業が必要で、前にも述べたやうに、現在の我が國では沖荷役が大部分で、揚荷役で沖船りの場合を例にとつて説明しますと、次のやうになります。

ま工場に持ち込まれるわけでは、このやうに船内荷役と岸壁荷役の三つは切り離すことの出来ない一貫した作業で、どれか最も力の弱いものの水準に落ちますから、三つのものの均衡が大切で、これは荷役の最も難かしい點の一つとされてゐます。

船内荷役、岸壁荷役、沿岸荷役、前送

我が國では港の地形や港上の理由から沖荷役が圧倒的に多く、全荷役の八割以上を占めてゐるので、荷役作業に對する天候の影響が大きく、また熟練を要し、多くの不便を伴ひます。

機械荷役と人力荷役 何一つ機械を用ひない荷役といふものは考へられませんが、こゝでいふ機械荷役と人力荷役との區別は、荷役作業をする場合に人力が機械に對して補助的な役割をするか、あるひは人力が主で、機械が補助的な役割をするかによつて分ちます。機械荷役と人力荷役の區別は、前述の岸壁荷役と沖荷役との區別と密接な關係があります。といふのは、大きな機械設備は陸上でなければ十分に出来ませんから、完全な機械荷役は當然岸壁荷役をななければなりません。

港内荷役でも、機械の種類によつては、殆んど人力を借りないで荷役が行はれるものもあります。

こゝに我が國の荷役問題の難しさの大きな原因があるわけでは、しかも、これまでの港内荷役関係事業の状況は、極めて無秩序であつて、小經營の濫立、設備の重複、作業の無統制等、遺憾な點がすくなくありませんでした。

次ぎに人力荷役であるために、港内荷役の問題は、直ちに勞務の問題となつてゐるので、この趣旨に則つて、港内荷役の三部門の作業力の均衡の難しさを解決し、三位一體の総合荷役力の發揮に努めてゐます。

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

一昨年九月に制定された港運送業等統制令は、強力な國家的統制の下に、総合的な港運送業の發揮を目的としてゐるので、この趣旨に則つて、港内荷役の發揮に必要なる組織として港運送業會社を設立することに、昨年十二月末までに全國主要港を通じて四十七社が設立されました。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

港内荷役でも、また沿岸荷役でも、人力荷役は、いづれも多く危険を伴ふ非常に激しい労働で、しかも相當の熟練を要します。

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

このうち、六大港では、岸壁荷役を主體として、その港の荷役全般の責任者としての港運會社、その下部組織として船内荷役の部面を擔當する船舶荷役會社、沿岸荷役を擔當する沿岸荷役統制組合があり、その他の港では、す

あります。それは先づ何よりも業態の
波動性といふことに原因してゐます。

港務荷役業は、船がなければ仕事に
なりません。つまり船の入港といふ外
部の事情に左右される非常に受動的な
業態であります。船は常に一定量が規
則正しく入港するものではなく、その
ために、荷役業は仕事の繁閑の差が甚
だしく、常に一定数の労働者を雇備し
て、多量の入港船の荷役に備へること
は、経済的に出来ぬ事情があります。

そこで少数の労働者を常備し、他は
自由労働者に頼つて来たのですが、勞
務不足の今日では、自由労働者は次第
にその姿を消し、また戦時の特徴であ
る船の集入港のために、仕事の繁閑
の差は、いよゝ激しくなることは避
けられませんから、これまでの労働體
制では、眞の敏速荷役は出来ません。
そこで政府では、來年度豫算として

「港務荷役力ノ確保ニ要スル經費」を議
會に提出して、主要港に對して差當り
最も熟練を要し、また逼迫の状況にあ
る船内荷役労働者の一定数を常時確保
するために、船舶荷役會社に對して、
補助金を交付することになりました。

労働者の福利施設

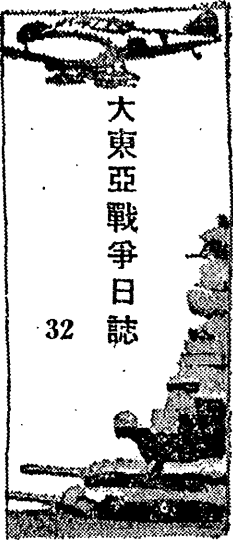
これまで港務荷役労働者の確保に困
難を加へてゐた今一つの原因として、
過激で危険な荷役作業の労働者に對し
て福利厚生施設が十分でなかつた點が
挙げられるでせう。以前からよ
くいはれる親分子分の親密な關係があ
つて、親分は自分の私生活上の面倒ま
でも見てやるといふやうな美風が、今
もなほ前影をとめてゐますが、前に
も述べた經濟上の理由その他のため
に、多数の労働者にまで及ぼすことは
難しいといはねばなりません。この點
に着眼して設立されたのが港務荷役改

善協會で、各主要港に財団法人として
設立され、港務荷役労働者の福利厚生
の衡に當ることになつてゐます。

以上のやうに荷役業務の組織化、勞
働者の確保等について、政府ではいろ
いろと對策を講じて来たのであります
が、更に荷役の機械化等についても今
後なほいよゝと施策を講ずると同時
に、戦時下にいよゝ重要性を増す港
務荷役の能率向上を期待して、一定
基準以上の荷役実績に對して奨励金が
交付されることになつてゐます。しか
し、政府のこれらの方策も、國民一般
の港務荷役に對する理解と協力がなく
ては、完全な効果を擧げることが出来
ないであります。荷役に關係するも
の粉骨碎身の御奉公はいふまでもあ
りませんが、荷役關係者に對する國民
の感謝と激勵とが更に荷役力の向上と
なつて現はれるやう期待してやみませ
ん。

大東亞戦争日誌

32



昭和十七年十二月二十二日

十二月二十二日(土)

天皇陛下、神宮に御参拜
天皇陛下には十一日、東京を御發
駛、十二日、伊勢の神宮に御参拜、
戰勝を御祈願あらせられ、十三日、
宮城へ還幸あらせられた

十二月二十五日(火)

揚子江下流地區の戦果
揚子江下流地區に勇戦中の中支軍、十
一月中の総合戦果
捕虜約一千三百、捕虜一千百、
敵機約五百、洋砲二八四、迫撃砲四、
擧砲二、小銃一千三百
捕虜して大型機四機を破壊
陸軍航空部隊は、桂林方面を飛行場を
急襲、残存の大型機四機を破壊
十二月二十六日(水)

揚子江下流地區に感状

瀋陽領チモール島攻略
戦に奮勇を竭した神戶歩
兵中隊・同隊属部隊に對
し今村副司令官より感状が授
けられ、上聞に達した旨、陸
軍省発表

中井航空隊に感状

マニラ方面に
出現三月一日の米機部隊を撃退した中井
一夫大尉指揮の〇〇海軍航空隊〇〇派遣隊
に對し山本聯合艦隊司令長官より感状が授
けられ、上聞に達した旨、海軍省発表

インドの二飛行場を急襲

陸軍航空部隊は、十五、十六日に互
りチッタゴンとフエンニ飛行場を急
襲、敵機十九機(うち不慮貫四機)を撃
墜、四機を炎上、六機を撃破し、さら
に兩飛行場とチッタゴン港埠頭の主要
施設を破壊
わが方の損害 自爆一機、未歸還機四機

十二月十九日(日)

攻路作戦部隊に感状
パタアン半島ならびにコレヒドール要
の攻路戦に奮勇を竭した佐藤部隊・同隊
属部隊、島飛行部隊、同隊属部隊、同協力部
隊ならびに佐藤部隊江漢軍艦中尉に對し
本間比島方面陸軍最高指揮官より感状が授
けられ、上聞に達した旨、陸軍省発表

十二月二十日(日)

インド航空基地を猛襲

陸軍航空部隊は、インド東北部の要
地を急襲
カルカッタ急襲部隊は、同飛行場その他
の軍事施設を破壊
チッタゴン急襲部隊は、同飛行場を爆撃

十二月二十二日(火)

ウエーキ島攻路部隊に感状

ウエーキ島攻路の田中中佐指揮の第〇〇
艦隊聯合特別機隊・同参加部隊に對し、
山本聯合艦隊司令長官より感状が授けら
れ、上聞に達した旨、海軍省発表
第三次東支那作戦の戦果
山東半島東部の共産軍を殲滅のため、北
支軍は第三次東支那作戦を展開中であつた
が、その総合戦果は次の通りである
遺棄死體一千九百、捕虜二万三千、山砲
二、小銃一千百、重機十二、手榴彈七
千五百、その他軍事施設多数を破壊

正誤

本誌第三二八號(三月三日)に對しての「増設」に依
る誤字一覽(中、十三頁)上段「合流」の誤字「合
中、飛出」の誤字「二」を訂正して、大塚大臣の定むる川邊
に突つるもの」と訂正し、百十頁を「戦時」とする
は、百十五頁の誤りにつき訂正します。

露光量違いにより重複撮影



青年學校制の改革
この度、學制が改革されたのが、まことに結構なことであるが、青年學校制度に關しては、遺憾に堪へない。現在の青年學校は、教員、教科書ともに不備であり、また教授内容は餘りにも稚拙である。しかも、不幸にして上級學校に進み得ない青年には、向學心に燃え、自己の向上に眞剣に刻苦してゐる者が多いのである。明日の大東亞を背負つて立つ勤勞青年に對し、より高き知性を與へるため、速かに青年學校を中等學校程度に引上げられんことを切望する。(青校生)

路上禁煙
二月の空ッ風、乾燥期に入らうとしてゐるこの頃、毎日の新聞紙面の何處かに「火事の記事を見受ける。火事こそ「國家の敵」である。その原因の大部分は、煙草の吸發の不始末によるといはれる。それにも拘はらず如何に路上喫煙者の多いことか。そしてその人達の大多数は不注意にも吸發を捨て放しにしてゐるのだ。先づ路上禁煙を勵行し、火事の原因を未然に防がう。場合によつては、法的に取締つて頂きたい。(女界 正題)

簡易圖書館の設立
最近、古本が全く姿を消した。これは單に東京ばかりでなく、全國的なことだ。學生諸君は勿論のこと知識欲に燃えてゐる者にとつて、苦痛でせう。私は、心ある人の被書供出をお願ひしたい。特に隣保精神で以て有志の供出により、各町村に一ヶ所の簡易圖書館を設立するやう要望する。(東京 花米生)

母親と娘の就職
働きたい、女性は、「微命令を待たずに國民職業指導所へ」といはれますが、一生懸命家事をしたから女中を辭めてほしいと、いくら願つても聽かれず、それならば勤めに用いたいといつても、「そんなことをしたら嫁に貰ひ手がなくなる」と蒸氣なく斥けるのが母親なのでございます。

このやうな、いはゆる常識で固められた無理解な母親と、その無理解に當惑してゐる娘は、世間には随分多しと存じます。そして私も娘達の、この働きたいといふ願望を叶へていたゞくには、微命令の發動以外にはないと思つて居ます。(女界)

| | |
|-----|---|
| 週報 | 昭和十八年二月十日發行 |
| 印刷所 | 東京市神田區 本町一丁目一番地 開印刷局 東京市神田區大手町 |
| 定價 | 一部 五錢(送料一錢) <small>(外國郵便に依る場合は送料共一圓十錢) ▲預約發送部の方は一圓五錢(送料一錢)の割合を以て前金を送へ御申下さい ▲特大號の場合は其の都度郵費を以てより郵額を申受けます</small> |
| 御注意 | 全國各地官報販賣所 書店・新聞店・驛賣店 <small>▲本誌より特約の場合は必ず「國報」何號より「特約」の旨を明記し、その號誌を附報局に郵附第三部郵送下さい ▲本誌記事の無断転載は許さず ▲掲載記事に對する御苦情や論議に關しての御意見も國報編輯部にお知らせ下さい ▲本誌を他へお送りの場合は郵便一圓一錢</small> |

けふも
蓄蓄!
大誌省・生命保險株式會社

情 報 局 編 輯

週 報

二 月 十 七 日 號

昭和十八年十月十一日第一種郵便物認可
昭和十八年二月十七日發
（毎週一回本報日發行）

五 錢

南太平洋の作戰について

歐洲戰局の推移

木材の生産増強と供木運動

三月の常會の頁

331 號

週

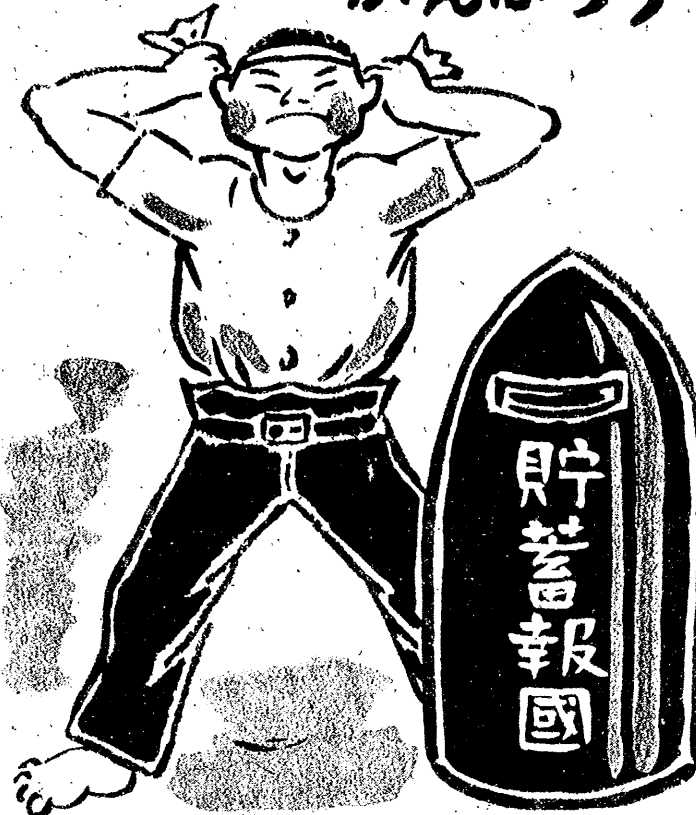
報

昭和十八年十月十一日第一種郵便物認可
昭和十八年二月十七日發
（毎週一回本報日發行）

内閣印刷局印刷發行

週報は民翼賛の道しるべ

二百三十億、
もう一息だ
がんばらう



二百三十億貯蓄完遂郵便貯金強調運動

（本書の大きさは国定規格[A5]判）